

# 5年1組・2組(じゅくいコース) 算数科(単分量あたりの大きさ)

平成28年11月30日(水)5校時

**どちらが混んでいるのかを、グループで模型を操作しながら考えました。**

## ① こみぐあいを体感する

マットに1人ずつ順番に乗り、感想を話し合う中で、「ぎゅうぎゅう詰め」のことを「こんでいる」、その反対を「すいている」ということを確認し、それを体感することができました。 全体 【発表】

## ② どちらが混んでいるのかを考える

混んでいるのはどちらの部屋かを、グループごとに模型を操作して、その理由とともに話し合いました。たたみ1枚に1人ずつ置いてみたり、たたみと人の模型を別々に並べたりしながら、それぞれの問題に取り組みました。

グループ 【ワークシート】

## ③ 話し合ったことを発表する

混んでいるのはどちらかを、その理由とともに発表しました。たたみ1枚に1人ずつ割り当てて考えることで、余ったたたみの枚数や広さから「混みぐあい」を導きだそうと懸命でした。 全体 【発表】

## ④ 学習のまとめをする

単分量あたりの考え方をまとめた補助シートを配布し、わり算でどちらか一方を1にそろえることで、混みぐあいを比べることができることを確認しました。

全体 【補助シート】

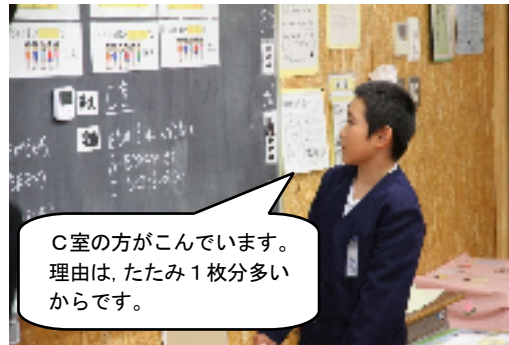
## ① 混みぐあいを体感する



ぎゅうぎゅう詰めだね。

「こんでいる」と言います。

## ③ 話し合ったことを発表する



C室の方がこんでいます。理由は、たたみ1枚分多いからです。

## ② どちらが混んでいるのかを考える



たたみ1枚に1つの人形の模型を置くと…。

## ④ 学習のまとめをする



今日の学習でわかったことは？

**混みぐあいを体感したり、グループごとに模型を操作して話し合ったりしたことで、混みぐあいについて楽しく学習できました。また、単分量あたりの考え方について、興味をもつことができました。**

(実践者 教諭 河上 大機)

## 〈感想〉

- 今日の算数は、いっぱい書けたし、とてもわかりやすかったです。
- 最後のたしかめで、単分量あたりはわり算でできることがわかりました。
- わり算が苦手なぼくでも、簡単にできたのでうれしかったです。